

日本エコミュージアム研究会 全国大会in勝山開催!

10月11日・12日の2日間にわたり、エコミュージアム全国大会が勝山市で開催され、市内外より約200名が参加しました。市内でのフィールドワークや交流会、まちづくり先進地の事例発表やシンポジウムが行われました。

◆市内でフィールドワーク

市内でのまちづくりの取り組み・成果を見てもらうために、市内を5コースに分け、参加者に視察してもらいました。

- ①まほろばコース（平泉寺）
- ②ジオ体感コース（猪野瀬、遅羽、鹿谷）
- ③まちプラコース（勝山）
- ④自然満喫コース（野向、北谷、村岡）
- ⑤昔の暮らし体感コース（北郷、荒土）

また、11日の夜は交流会が開催され、アトラクションとして、谷のはやし込み行列、北谷町の昔おどり、勝山左義長ばやし保存会による演舞が披露されました。会場では勝ち山おろしそばをはじめ、勝ち山の郷土料理がふるまわれました。



①コース 平泉寺小学校の発表



③コース 開善寺見学



④コース 野向町コスモスまつり



アトラクション：谷のはやし込み行列



アトラクション：北谷町の昔おどり

繊維のまち勝山の起源を辿る

勝山城博物館連携共催展から

現在、勝山城博物館では、市と共催で「幕末・維新かつやまの人づくり―教育と産業の歩み―」と題した展示会を開催しています。

勝山の近代化に大きな役割を果たした林毛川（ちんげんがわ）の紹介から始まり、大きくは成器堂（成器小学校）関係、煙草関係、生糸関係、明治の教科書関係の4つの展示から成っています。今回はその中から生糸関係の展示について紹介します。

繊維産業は現在でもなお福井県の基幹産業であり続けています。なかでも明治中期以降の羽二重生産は全国でもトップクラスにありました。福井県産羽二重の生産が急成長を遂げるのは、明治20年代で、勝山では明治23年（1890）、石上（茂兵衛）工場がさががけとなり、30年から40年にかけて織物業（機業）の数は急増します。

その原料となるのが生糸で、日本の外貨獲得に最も貢献した輸出品でした。しかし横浜が開港した江戸末期の器械は座繰りといわれる手挽きの器械で、その生産性や品質などには大きな問題がありました。今年6月に世界遺産に登録された富岡製糸場は、器械設備や技術のお手本となるため、明治5年に設立された官営模範工場でした。

福井県からは勝山町の松村コトと神谷ミツの2人が、技術を学ぶため富岡製糸場に伝習生として派遣されました。一方、斎藤遊（あそ）と7代小林平三郎などを中心に、福井県では初めてとなる、株式を募集しての会社の設立を目指しました。そして遊の養子10代治兵衛や大工の和田與平は実際に富岡を訪れ、その知識見聞を会社造りに生かします。また、梶與右衛門は県内で初めて蒸気缶（ボイラー）を手がけ、こうして明治9年に開業したのが勝山製糸会社です。この会社は明治20年代に民間製糸工場として県内外に広く知れ渡り、福井県を代表する会社として、日本の生糸輸出の一翼を担っていました。



斎藤遊肖像（個人蔵）

福井県の製糸場（明治14年「福井県統計」より）

※1貫=10,000分=3.75kg

国名	工場名	地名	器械	入社人員	製糸惣額 (貫分)	創立年月	建坪(坪)
越前	勝山製糸会社	大野郡元禄丁	蒸気	69	594 3,695	明治 9年 7月	265.25
越前	製糸場	今立郡中津山村	蒸気	1	105 0,000	明治 9年11月	69.00
若狭	成出製糸場	三方郡成出村	座繰	3	42 8,200	明治13年 6月	56.50
若狭	竹原製糸場	遠敷郡竹原村	座繰	38	161 7,560	明治12年 6月	171.00

◆全国大会を終えて

日本エコミュージアム研究会全国大会in勝山
実行委員長 玉木憲治

10月11・12日市内外より多数の方々をお迎えし、日本エコミュージアム研究会全国大会in勝山を盛会のうちに終え、来場された皆さまより称賛の声を頂戴致しました。

ご尽力を賜りました多くの方々に、心から感謝を申し上げます。

エコミュージアムの活動理念は「住民による」が不可欠であり、まちづくりの切り札は「バカ者・キレ物・よそ者」です。皆さま方の更なるパワーを期待し“YES WE CAN”有難うございました。



アトラクション：片瀬の銭太鼓



シンポジウムの様子

◆椎名誠氏もシンポジウムに
12日は市民会館大ホールで研究会全国大会式典が開かれ、フィールドワークの報告や、勝山市のエコミュージアム15周年の歩みの紹介、先進地である山形県朝日町の事例発表が行われました。

また、「これからのエコミュージアム」をテーマとしたシンポジウムが行われました。かつやま 左義長 大使の作家椎名誠さんも参加され、エコミュージアムによるまちづくりに対して活発な議論がなされました。



煙草盆、煙管、刻煙草（個人蔵）

会場には「勝山製糸会社履歴」「三ノ丸製糸場ノ図」などの資料、遊の肖像などが展示されています。あわせて煙草盆、煙管（キセル）などの道具、版木、「越前勝山ノ図」、成器堂文庫、小学校の教科書なども展示しています。目に触れる機会の少ないものが多いので、ぜひ会場に足を運んでいただいで、当時の現物を自分の目で見てください。きっと勝山人の勇気、誇り、元気をもらって帰ることができると思います。

史蹟整備課（教育会館2階） ☎ 88・8113